

しべちゃ 議会 だより



最後の卒業式となった中御卒別小学校

第93号

平成26年5月1日発行

発行/標茶町議会
編集/広報調査特別委員会
電話/(015)485-2111
住所/標茶町川上4丁目2番地

3月第1回定例会(3月7日~12日)

平成26年度各会計予算が決定

一般質問 **町政を問う** 7名10件の質問

陳情1件、意見書5件、食の安全・安心の確立を求める意見書など

平成25年度補正予算可決

第1回臨時会(1月30日)

条例の一部改正

平成25年度一般会計補正予算(3,450万円の追加)

総額 154億5,306万9千円

- 一般会計 104億5,900万円
- 特別会計 35億4,244万円
(国民健康保険・下水道・介護保険・後期高齢者医療)
- 企業会計 14億5,162万9千円
(病院事業・上水道事業)

平成二十六年 第一回定例会 予算可決

主な 新規事業

- 合併処理浄化槽設置整備補助事業
- 磯分内小学校(校舎・屋体)建設事業
- クリーンセンター焼却炉改築事業
- 強い農業づくり支援事業
- 磯分内町営住宅建替え事業

条例の一部改正

三件の条例改正があり、内容は次のとおりです。

● 社会教育委員設置条例の一部を改正

社会教育法の一部改正により平成二十六年四月一日から施行されることに伴い、条例の一部を改正しました。

● 標茶町手数料徴収条例の一部を改正

「女性特有のがん検診推進事業」により対象年齢の方に無料のクーポンを配布し検診の奨励を行ってきました。平成二十六年年度の国の同事業については対象者が平成二十一年度から平成二十四年度の事業実施期間中に一度も受診していない方を対象として、無料クーポンの送付対象者が縮小となりますが引き続き受診の奨励を図るため手数料条例の一部について改正しました。

● 標茶町障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正

「地域社会における共生の実現に向けて新たな障害者保健福祉施策を講ず

るための関係法律の整備に関する法律」の施行により、題名及び第1条中「標茶町障害程度区分認定審査会」を「標茶町障害支援区分認定審査会」に改正しました。

条例以外

● 建設工事委託に関する協定の変更に ついて

標茶終末処理場汚泥処理施設整備工事の一部変更により、委託契約金額1億6,600万円を1億2,731万円に変更するものです。

● 教育委員会委員の任命について

町長から新しく教育委員会委員の任命が提案され議会はこれに同意しました。

新教育委員 高野 政広氏

平成二十五年 補正予算可決

平成二十五年補正予算は、一般会計1億2,077万4千円の増額をはじめ、国保事業・下水道事業・介護保険事業・病院事業・上水道事業の補正があり、いずれも原案可決。

リース方式による公共施設へのLED照明の導入を

川村多美男
議員

町長・教育長 導入に向けて検討する

問 東京電力福島第一原子力発電所の事故後、料金を大幅値上げした電力6社のうち北海道電力が二月十七日電料金を再値上げする方針を正式に表明、泊原発1号機から3号機の再稼働が見通せないためとしている。

再値上げ時期・値上げ幅は現在明らかになされていないが、本町の一般家庭・企業・公共施設の電気料金負担増は避けられない状況である。

これら逼迫する電力事情を背景に省エネ対策として既存の公共施設や今後建設される公共施設へのLED照明の導入は喫緊の課題と考える。LED照明への切り替えは初期費用が重い負担となるが、民間資金を活用した

リース方式によって新たな予算措置をすることなく電気料金の節減相当分でリース料金を賄える事例もあり、省エネとコストダウン、電力多消費施設から積極的にLED照明の導入を推進すべきと考えるが町長・教育長の所見を伺う

答 ●昨年九月の北海道電力の試算では本町の自由化部門契約への影響額は年間630万円ほどの負担増となる。点灯時間の長い施設、消費電力量の多い施設から導入に向けて考えていきたい。

●二十六年度着工予定の磯分内小学校校舎・屋体建設工事において省エネと低コスト化を図るため、全部の照明器具について導入していききたい。



第一回定例会では、七名の議員が十件の一般質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

町政を問う

間伐材を有効活用したまちづくりを

長尾式宮
議員

町長 調査研究していきたい

問 議会では木質バイオマスをはじめとする「環境モデル都市」事業に取り組んでいる下川の先進地視察をする機会を与えられた。林業のまちとしてエネルギー・経済の地域循環型のまちづくりを推進するにあたり、多岐にわたるメニューが深く関連付けられ、実行されている様子を興味深く聴くことができた。特に関心が強かったのが、循環型森林経営（植栽・伐採の恒久化、雇用の創出、地域経済の安定化）、自然環境教育、木質バイオマスによる熱源の利用などがある。

標茶町としても自然環境保全に対する意識は非常に高く、昨年は家畜ふん尿によるバイオマスガス発電の支援に取り組んできた。

標茶町でも相当数の町有林を保有しているが、現在の程度町有林の間伐等の手入れがされているのか。また、間伐事業により雇用

答 近年の町有林では年間約六〇〇立方メートルの林地残材が発生をしている。こうした森林資源を林内に残置する理由については、伐採から搬出までのコストの問題がある。標茶町森林組合を中心とした町内関係機関と連携して取り組まなければならないと考えている。林業、林産業が活性化され、森林資源の循環利用と本町が誇る貴重な資源環境の保全にもつながるので、本町の資本が最終的に本町内で還元されるという総合的な見地のもと、引き続き調査研究していきたい。

の創出や、今まで単純廃棄されていた物があるのであれば熱源として利用する事で自然環境保全に対する標茶町としてのアプローチとなりえるが、町長の所見を伺う。



長尾 式宮 議員

まちおこしのための冬のイベントを

問 近年、冬場の道東観光も定着しつつある

と思われる。標茶町においては冬期間JR釧網線のS-L運行があり、国内旅行者だけでなくとどまらず海外の旅行者も多数見受けられる。駅では町内ボランティアの方々が商工会でイベントや旅行者への案内対応をして頂いている。

町外へのアピールだけでなく、冬の風物詩として町民にも参加してもらえようなイベントを各団体協力ものと執り行うことで活気あるまちづくりにつなげていけるのでは考えますが町長の所見を伺う。

若い力に期待する

答 冬のイベントとして

平成十五年二月までスノーフルフェスタが開かれていたが、開運橋のかけかえ工事の関係もあり、平



成十六年度は休止となり、以後は開催されていない状況が続いている。イベント自体は一過性の色合いが強いが、各団体が協力してとり行い、町民の皆さんが参加できる体制や内容であれば、活気あるまちづくりにつながるものと考えている。

若い皆さんの柔軟な発想と構想力に期待するとともに、その支援に努めていきたい。

深見 迪 議員

国保の都道府県単位化は町民に負担を強いる

町長 必ずしも負担増になるとは考えていない

問

いま市町村が運営している国民健康保険が都道府県への「広域化」に変わろうとしている。厚生労働省は期限を区切って着々と準備を進めている。町長は、町村会の一員として従来からこの「広域化」を主張してきた。その根拠として、国保財政の赤字の解消、スケールメリットの優位性を上げてきた。町長は、都道府県単位化になった場合、町民のサービスも向上すると考えているか。

町は今まで国保税の値上げを抑えるため一般会計からの繰り入れを行ってきたが、広域化になれば繰り入れはできなくなるのか。

今後、繰り入れができなくなれば、際限なく国保税が上がる仕組みになると考えるかどうか。

このような状況で保険料がさらに上げられ、滞納増加・財政悪化・保険料上昇・滞納増加という悪循環になるのではないかと。また、広域化になれば住民の切実な声が届かなくなるのではないかと。

答

現状より良くない状況になるとは考えていない。

都道府県と市町村が適切に役割分担するために必要な措置を講ずるとしているの状況を見守る。

また、保険料は必ずしも上がる位置ではないと考えている。医療費の削減等に取り組んでいきたい。

国民健康保険を守っていくことが結果として町民を守ることになる。



総合住民健診のようす

深見 迪議員

厚労省の学童保育に関する運営基準についての準備はできているか

問 厚労省は学童保育について昨年報告書をまとめ発表した。標茶町の学童保育は現在この基準に達しているか。報告書では指導員の資格や一定の研修による質の高い保育をとおるが、この点はどうか。開所日数と時間について改善すべき点はあるか。特に土曜日を含め休日の開所時間はどうなっているか。

答 また、厚労省の報告書によると当然「みなみな」「まなびあ」へも学童保育と同様、町の手厚い援助をさらにすべきと考えるかどうか。

道の動きを注視する

答 町内五ヶ所の地域の学童保育所運営委員会に運営の一部を委託し実施しているが、専用スパー

ス等おおむね問題ない現状だ。指導員についても基準に合致している。研修等も北海道の動きも注視しながら研修の機会の確保に努める。

土曜日・休日等は午前八時三十分から午後五時三十分だが、それぞれの運営委員会で決めている。二地域は土曜日に行っていない。「みなみな」「まなびあ」から相談等があれば協議をする。



学童保育のようす (チャンベツ地区)

道道久著呂原野塘路線冠水防止のため道路のかさ上げを

問 この路線は大雨による冠水のためたびたび通行止め規制が行われて

いる。年平均どの程度の通行止めが行われているか。

通行止めになれば、日常業務や経営・個人の経済にも多大な被害が出る。実態を町はどの程度把握しているか。

生活道路、生業や通勤に日常利用している道路、さらには観光の発展からも釧路湿原国立公園の環境保護に留意し環境に優しい冠水地点の道路のかさ上げを早急に実施すべきと考えるがどうか。

粘り強く要請を続ける

答 通行止めによる被害の額は把握していないが、1個人・2事業者が通勤や業務で2倍程度の時間的影響を受けたと聞いている。

かさ上げについては粘り強く道に對して要請を続けていく。



後藤 勲議員

消費税増税による給食費への対応について

教育長 増税3%負担を理解願う

問 四月から消費税が5%から8%に増えることにより家計への負担が増大すると考えられるが、給食の質を落とさないとするれば、給食費についても3%引き上げることとなるのか伺う。

答 給食費については、食材だけの負担となっており、人件費や施設経費等は行政で負担している。極力少ない負担で保護者に協力を願いたい。
一食当たり小学校7円、中学校8円の値上げを予定しており、給食の質を落とさない為の値上げである。



新一年生、初めての給食 (標茶小)

鈴木裕美 議員

未婚のひとり親にも所得税寡婦(夫)控除のみなし適用の実施をしては

町長 前向きに検討する

問 母子・父子世帯が年々増え、その中には未婚で子供を産み育てるひとり親もおります。所得税法では未婚のひとり親は寡婦(夫)控除が認められていません。

そのため婚姻歴のあるひとり親に比べ、税の負担に加えて保育負担金や学費住宅使用料等の負担が大きくなり、婚姻歴の有無による区分は、差別的な取り扱いと言わざるを得ません。国の税制上の問題ではありますが、他の自治体では独自に「寡婦(夫)控除のみなし適用」を実施しております。

誰もが安心して子供を産み育てることのできる環境づくりの一環として本町も未婚のひとり親に対して、

○寡婦(夫)控除のみなし適用を実施してはどうか。

○国に対して寡婦(夫)控除の適用拡大を要請すべきと考えます

が如何か。

○また事務報告書等で公表している母子父子家庭世帯の中には未婚のひとり親世帯は含まれているのか伺う。

答

結婚歴の有無により保育料等の負担に格差を設けるのは不適切であると感じており、寡婦(夫)控除の適用については前向きに検討する。

控除等の適用の拡大要請は町村会等を通じて町としても行っていく。

未婚のひとり親は本町にも存在している。



松下哲也 議員

「核兵器廃絶平和の町」宣言後の対応について

町長 自主的な運動が有効

問 昨年6月定例会において町議会提出による「核兵器廃絶平和の町」宣言に関する決議案が可決された。

その後の戦争犠牲者追悼式の場で町長・議長より参列者に対して発表がなされた。

この宣言が全議員の賛同をもって決議されたことは大変意義深いものがある。この宣言を内外に発信し町民の方たちと共有し周知させていくことが大事であり、立て看板の設置や庁舎への横断看板が必要と考えるが町としてどのような方策を考えているか伺う。

答

宣言文の一文の恒久平和は人類

共通の願いであり、平和を愛する標茶町民の願いであることと町民一人一人がその決意思いを深め広める運動論として、既存の関連する行事や広報等での周知、自主的な町民運動、職場地域などから展開することが有効と考えている。

『核兵器廃絶・平和の町』宣言に関する決議

恒久平和は人類共通の願いであり、平和を愛する標茶町民の願いでもあります。
核兵器は、今日、人類とあらゆる生命の存続に深刻な脅威を与えています。世界で唯一の被爆国である国民として、この地球上から核兵器の廃絶と戦争の根絶を訴えるものです。
緑豊かな美しい郷土標茶町の自然を守り、永遠の平和を願い、幸せな町民生活を守る決意をこめて、ここに「核兵器廃絶・平和の町」を宣言します。

本多耕平
議員

本町における集落地域対策について

町長 地域・行政がともに力を出し合う

問 今般、北海道（地域政
策課）が「地方を中心
に人口減と高齢化が急速に進
んでいることがわかり、実態
に応じた対策を講じていきた
い。」との発表をしたとの報
道がなされています。

近年、離農休農がハイペー
スで進んでおり地域によって
は人口減と少子高齢化が急
速に進み集落の維持が困難に
なってきている。

現に、保育園の休園・小中
学校の統廃合等、地域を支え
てきたコミュニティが薄ら
いできている地域会は過去に
おいて行政指導のもと各種団
体を整理統合し地域づくりと
町づくりが一体となる組織を
創り上げ成果を上げてきまし
たが、その地域会組織自体が
人口減少・高齢化によって活
動が危ぶまれています。

このような地域コミュニ
ティーの実態を踏まえ、以下の点について
伺う。

○人口減・高齢化により弱体化しつつある
集落へどのような対策を考えているのか。
○地域コミュニティこそが町づくりの核
と考える、そのうえで行政はどのように関
わっていくのか具体策を伺う。

答 本町においては社会基盤整備や地域
経済の安定、生活交通、産業後継者
対策、子育て支援、高齢者対策、地域づく
りの支援等を行ってきたところであり、今
後もより効果的に模索し強化しなければな
らないと思う。

地域コミュニティをどのように維持発
展させるかについては、一義的には行政の
お仕着せではなく住民の皆さんの思いが重
要であり、自ら望んだ姿を描き近づけるた
めの地域・行政が力を出し合うことが大切
と考える。



虹別住民運動会

第一回臨時会

総務経済委員会 審査報告

標茶町職員の再任用に関
する条例の制定について
審査の結果原案可決すべ
きものと決定しました。

条例改正

五件の条例改正がありま
した。いずれも、消費税法
の改正により平成二十六年
四月一日からの税率の改正
に伴い、使用料等の改正を
するものです。なお、育成
牧場ではいままでの哺育に
ついては受託料でしたが、
平成二十六年年度から哺育使
用料として条例化しまし
た。

正する条例の制定につい
て。

●標茶町水道事業給水条例
の一部を改正する条例の
制定について。

●標茶町育成牧場条例を改
定する条例の制定につい
て。

●標茶町下水道条例及び標
茶町農業集落排水施設の
設置及び管理に関する条
例の一部を改正する条例
の制定について。

平成二十五年 一般会計補正予算可決

町営住宅（磯分内団
地）建設工事請負費 3,
450万円



●消費税及び地方消費税の
税率の改正に伴う関係条
例の整備に関する条例の
制定について。
●標茶町病院事業の設置等
に関する条例の一部を改

総括質疑

川村多美男 議員

問 文科省は土曜授業を増やし学力向上につなげたいとしているが、実施するのは難しいか。

答 現状は難しい。平成二十六年は実施予定はない。

問 灯油助成世帯への助成枠を拡大すべきでないか。

答 現行で推移をしている。

問 二十五年実施の脳ドック助成を今後助成枠の拡大を考えているか。

答 医療機関との問題があるため枠の拡大は難しい。

問 使用済み小型家電の回収箱を役場や公民館等に設置すべきでないか。

答 どのような形がいいのか検討する。

問 心肺停止時に使用するAEDの日常点検はどのようにしているのか。

答 毎日器具の点検している。

問 災害非常用発電機を他の避難所にも配置する考えはないか。

答 今後、塘路、開発センター等を考えている。

問 食物アレルギー発症時に使用するエピペンの講習は実施しているか。

答 保育所の研修会で実施をした。また養護教員、栄養教諭等が必要に応じて検討したい。

問 新五十石橋の完成年度や全長、幅員、予算規模等広報で周知すべきでないか。

答 五月頃の広報で周知できればと考えている。



完成が待たれる五十石橋

問 町道ルルラン通りの補修すべきでないか。

答 道路パトロールしながら進めて行く。

問 機構改革は検討してきたのか。

答 事務改善委員会で検討した。広範な調整必要と判断し見送った。

本多 耕平 議員

問 上チャンベツ東国牧野の運営、管理はどの様になっているのか。

答 道路については町で管理施設等の運営は利用組合で管理をしている。

問 本町における農地賃借地の実態と転売希望が出た時処理は可能か。

答 賃借地約八千haが本町の現状である。今後効率の高い農地活用があり方と、新しい国の農地バンク制度等も検討している。

林 博 議員

問 中御卒別小の校舎を利用した新規就農者のための研修センターの研修生の募集はどのように行うのか。

答 施設の活用や募集には研修のためだけではなく宿泊体験など、柔軟な対応をしてはどうか。

答 新農業人フエアーを利用したり、ホームページなどを利用し、情報発信していきたい。

問 開発センターで音が反響して会話が聞き取りにくい部屋がある。改善すべきでは。

答 特に苦情は聞いていないが調査検討したい。

問 磯分内小学校の改築でオープン教室とになっているが児童が学習に集中できるのか、授業等に影響はないか。

答 オープンスペースと共用する事もでき多様な使い方ができる。他校の例から特に問題があるとは聞いていない。可動式ロッカーを使用するので部分的に境をつくる事ができる。



オープン教室 (塘路小学校)

問 磯分内の北公住の建て替え計画で公園の整備計画はどのようになっているのか。

答 平成二十八、二十九年で整備していく。

松下 哲也 議員

問 国道274号線における防雪柵の設置はどの様なれば設置できるのか。町として要望した事はあるか。

答 利用する地域からの要望があれば町として要望しやすい。



問 閉校中の校舎の点検、管理と今後の利活用に向けての方策は。

答 各学校の設備点検時に十分配慮して点検していく。利活用については幅広く情報発信していきたい。

長尾 式宮 議員

問 エゾシカ対策の効果は？

答 平成二十五年度は2000頭以上を駆除している。現在はくくり罠も推進しており、二十名ほどの有資格者がいる。

問 少年団の指導者育成はされているのか？

答 現在六十名の指導員が配置されている。指導者育成はスポーツ少年団本部の予算を活用し、管内の指導者養成講習会に参加している。



問 学習指導要綱改正後の児童の学力向上のための施策の効果は？

答 学力向上プランにおいて、学年×10分の家庭学習を推進している。習熟度、学習時間に向上が見られる。

黒沼 俊幸 議員

問 標茶町に屠畜場建設はどの様に進んでいるのか。

答 昨年二月八日釧路管内農協組合長会、中央会、標茶農協から要望があり公設民営化方式で標茶町に建設してほしいとの事だった。

現在当初の建設見積りより大幅にふくらみ、農業団体と各関係機関が、変更計画を作っている段階である。立地条件も、地下水、建設予定面積、排水など諸条件が整う所を検討中である。

館田 賢治 議員

問 町の公共の工事の早期発注をし雇用の確保

保を！

答 今後も準備ができしだい早期発注に努めていく。

問 食材供給施設「ピルカトウロ」の運営の是非について

答 現状では通年営業は無理であると委託先より言われている。今後のあり方について色々と検討していきたい。



食材供給施設 ピルカトウロ

問 磯分内美幌堆肥舎の今後の運営方針について

答 現在二戸での利用だが、周辺で利用参加

してくれる農家がない。幅広い利用方法を継続して検討していきたい。

問 再生可能なエネルギーであるバイオマスの推進の取り組みについて

答 現在スムーズに稼働されていると聞いています。今後施設が増えていく事が環境上望ましいが農家の理解が必要である。今後もエコビレッジ協議会の中で研究していく。

問 企業会計制度の変更による町立病院会計の影響について

答 新会計制度では流動上負債が心え数値上多少の動きはある。

問 町立病院内科、午後休診について

答 内科医、看護師の確保が出来ない限り当面火・水曜日の午後の休診体制で進みたい。

委員会報告

総務経済委員会 所管事務調査報告

◆調査年月日

平成二十五年八月十二日
平成二十五年十月八日
九日

平成二十六年一月十四日

◆調査事項

と畜場の現状と課題につ

り

農林課長から(株)北海道畜産公社の現状と課題についての説明を受け、平成二十三年度では成牛において22万2,000頭のうち根釧工場では1万6,000頭で6%を占めている。開設年は昭和四十六年で四十年を経過し最も古く老朽化が進んでいる。

十月八日・九日の二日間、岩見沢食肉センター及び名寄市立食肉センターを視察し、新設の衛生管理の行き届いた工場を詳しく説明を

受けた。

◆委員会の所見

根釧管内十一農協組合長会は、と畜場は酪農専業地帯には必要な施設であること、加えてBSEや口蹄疫などを考慮したとき、と畜場は集約化よりも分散化がリスク分散になることから一致して新設による近代的工場の開設に向けた検討を進めており、現在仮設計と建設費の試算が行われている。JA標茶から建設に向けて不転の決意で臨むとの話があり、当委員会はこの報告書の後、と畜場建設へ向けて関係機関と協力していきたい。

陳情

◆陳情第一号

TPP交渉等国際貿易 交渉に係る陳情

TPP交渉に係る衆参両

院農林水産委員会決議の遵守、すべての国際貿易交渉における重要品目等の関税維持を求めるものです。

陳情者

標茶町農業協同組合
代表理事組合長
高取 剛

・総務経済委員会に審査が付託された後、本会議で全員一致で採択されました。

意見書

次の5件の意見書が可決され、関係機関に送付されました。

◆意見書第一号

消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書

軽減税率制度の対象品目や納税事務のありかたなど、制度設計の協議を急ぐこと、導入開始の時期については消費税10%への引き上げ時に実施すること等を求めたものです。

◆意見書第二号

食の安全・安心の確立を求める意見書

関係事業者等における食品製造や調理過程における安全管理や衛生管理体制の強化のため、食品表示等の適正化を図る景品表示法等改正案の早期成立・施行を求めたものです。

◆意見書第五号

「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書

手話が音声言語と対等な言語であることを国民に広めるとともに、普及・研究される環境づくりに向けた法整備を求めたものです。

◆意見書第六号

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

化石燃料への依存度が高まっている中、森林や木材が果たす役割はこれまで以上に重要となっている。森林施業の集約化、路網の整備、人材の育成等を積極的

に進めるとともに、森林資源の循環利用による森林・林業の再生を推進させることを求めたものです。

◆意見書第七号

TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書

TPP交渉に係る衆参両院農林水産委員会決議の遵守、すべての国際貿易交渉における重要品目等の関税維持を求めたものです。

次の2件の意見書が提出されましたが賛成少数で否決されました。

◆意見書第三号

沖縄県普天間飛行場の辺野古への移設計画の撤回を求める意見書

◆意見書第四号

特定秘密保護法の廃止を求める意見書

◆◆◆ 平成26年第1回臨時会・定例会賛否一覧 ◆◆◆

※これ以外の議案等は全員一致です。

議案等の内容		議員名											結果		
		松下哲也	長尾式宮	菊地誠道	本多耕平	林博	黒沼俊幸	後藤勲	舘田賢治	鈴木裕美	田中敏文	熊谷善行		深見迪	川村多美男
臨時会	消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	原案可決
定例会	消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書	○	○	欠	○	○	○	○	欠	×	○	○	×	○	原案可決
	沖縄県普天間飛行場の辺野古への移設計画の撤回を求める意見書	○	×	欠	×	×	×	×	欠	○	×	×	○	×	原案否決
	特定秘密保護法の廃止を求める意見書	○	×	欠	×	○	×	×	欠	○	×	○	○	×	原案否決
	平成26年度標茶町一般会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	原案可決
	平成26年度標茶町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	原案可決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、採決に加わりません。)

消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

反対討論 深見 迪議員

私は、今回提案された消費税増税分を町の各種使用料等に転嫁する条例の一部「改正」案に対し、反対の立場から討論します。

反対の理由は、住民の暮らし・福祉を守るべき標茶町が、消費税の機械的な使用料等への転嫁で、町民負担を増やすからであります。

今、町民の暮らしは本当に厳しくなっています。年金の引き下げや生活保護費の削減、介護保険料の相次ぐ値上げ、そして、4月からの多くの物価の値上げ、その上の消費税増税です。また、今回の消費税増税に対し、どう生業を続けて行つたらよいか悩んでいる商店や事業者の方が多くいます。だからこそ、消費税増税をストレートに転嫁するのではなく、負担増を極力抑えるべきです。

国の悪政から町民、町内中小・零細事業者の生活と営業を守る役割が自治体にはあります。消費税増税分を利用者に転嫁するかどうかは、町が判断できるものです。このような時だからこそ、消費税増税分の転嫁には慎重でなければなりません。

以上の観点から、今回提案された増税分を町民生活に転嫁する議案に反対するものであります。

平成二十六年年度標茶町一般会計予算について

反対討論 深見 迪議員

私は、今回提案された議案第十八号平成二十六年年度「標茶町一般会計予算」案に対し、反対の立場から討論します。

町長は、町政執行方針で「本町のよつな地方においては、円安による物価上昇の暮らしへの圧迫感が先行し、未だに景気回復の兆しすら実感できないのが現状である」と現状を分析し、町民へのくらしに思いをはせています。私も同じ現状認識であります。

今年1月に開催された第1回臨時会で、消費税値上げに伴う町の利用料、使用料等への転嫁が提案され、私は反対を表明いたしました。この消費税増税の影響は、子どもたちが毎日食べる給食費の値上げにも及ぶことが教育長の報告でも明らかになりました。

国民の所得が大きく減少したもとでの増税は、暮らしと景気をこわし、その結果、他の税収を減らし、日本経済と財政に深刻な事態を引き起こすことは明らかであります。

以上の観点から、今回提案された増税分を町民生活に転嫁する議案に反対するものであります。

第一回定例会 議会日誌から

- 十二月十一日 広報調査特別委員会
- 一月六日 広報調査特別委員会
- 一月七日 広報調査特別委員会
- 一月十四日 総務経済委員会
- 一月十五日 広報調査特別委員会
- 一月二十日 広報調査特別委員会
- 一月二十九日 議会運営委員会
- 一月三十日 第一回臨時議会
- 一月三十日 全員協議会
- 二月二十四日 釧路北部消防事務組合議会
- 二月二十四日 川上郡衛生処理組合議会
- 二月二十六日 厚生文教委員会
- 三月四日 議会運営委員会
- 三月七日 第一回定例会
- 三月十二日



3年目を迎えた3.11東日本大震災
犠牲者に対して黙とう



43年の歴史を終えた上御卒別小学校

編集後記

雪解けが進み春の足音が大きく聞こえる季節となりました。三月の第一回定例会は二十五年年度補正予算として二十六年年度予算を決定する重要な議会です。主な事業内容は町広報に記載されておりませんが、懸案事業も着工予定で二十六年年度予算は昨年度対比で七億一千万円増の大型予算が提案されました。一般質問者七名、総括質問者七名が町理事者と白熱した議論を展開し、二十五年年度補正予算、二十六年年度予算が全件可決されました。私達議員の任期も一年となりましたが、議員として議会の果す、果たした役割を今後ともしっかりと議会、だよりで皆様に報告をしてまいります。
(文責 本多耕平)